

自転車通行空間整備における今後の取り組みについて

① 札木通の自転車通行空間の交通量調査

目的

- ・整備前の平成27年度から整備後の平成28年度～令和4年度まで、整備効果の把握のため交通量調査を行ってきた。

調査内容

- ・平日の自転車の交通量が多い時間帯（朝7時～9時の2時間）を調査した。
（調査結果）
- ・主な通行者は通学者と通勤者。高校生の割合が高い。
- ・整備前の自転車通行空間利用者（車道順走）の割合は1割程度であったが、整備の翌年は約3割に上昇した。以降、毎年調査を行い、約4割前後を推移していることを確認した。
- ・今までの調査により、札木通の整備効果を確認することができた。

自転車通行空間に関する今後の取り組み等の検討に向けて

- ・自転車の通行ルールや通行空間整備の認知度を把握する。
⇒自転車の利用割合の高い高校生へアンケートを行うこととした。

② 高校生アンケート

目的

自転車の通行ルールの認知度や通行空間整備の利用度等を把握する。

結果 令和4年9月実施（桜丘高校 計67名、商業高校 計111名）

問1 自転車は車道の左側を通行することが原則であることを知っていますか。

【回答】知っている 98% 知らなかった 2%

問2 自転車通行位置が明示された道路では、基本的に通行位置を走っていますか。

【回答】通行している 73% 通行していない 27%

問3 問2で通行していない人は、通行しない理由を教えてください。

【回答】自転車の通行位置と知らなかった 11%
歩道を通行した方が安全であるから 56% その他 33%

問4 歩道を自転車で通行して危険な状況に遭った経験はありますか。

【回答】ある 34% ない 66%



- 自転車の通行ルールや通行空間は把握しており、道路状況に応じて車道や歩道の走行場所を選択して通行している一方で、歩道走行で危険な状況に遭遇した人も一定数いる。

③ 今後の取り組み等について

- 札木通りの交通量調査により、通行空間整備の効果は確認できているため、引き続き通行空間の整備を進める。
- 札木通り以外の路線においても、札木通と同様の効果があるか確認を行う。
- アンケート調査結果を踏まえ、引き続き、交通安全教室などによる交通ルールの啓発とともに、歩道走行での危険性を周知する。
※歩道走行の危険性…歩行者の接触事故、車との出会い頭の事故など